

学校名	天草市立栖本中学校
授業者	大塚哲子 林田佳美 赤松伊保子

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

水辺の生物・水質調査及び生物調査と海洋漂着ゴミの採取と類型化

1-2. 学年

中学1年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

- ・自分たちの飲料水が川の水であることを知り、川の水をきれいに保つ工夫や取組について考える。
- ・川の水質調査や、生息生物について調査活動を行い、地域を流れる川の現状について知る。
- ・川と海をつなぐ河口干潟の生息生物について調査し、干潟の状況について知る。
- ・河口干潟の漂着ゴミを採取・分類することで、干潟の現状と環境について考える。
- ・調査を受けて、感じたことやもっと知りたいと思ったことを個人で調べまとめ、発表する。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

校区にある河内川は、天草上島で最も長い川で、その水は飲料水としても使われるほどのきれいな水であるが、地域住民の自然への関心は高いとは言えない。そこで、水辺の生物調査や水質調査、及びその地形や川が流れる河口干潟の調査を行いながら、現状、及び自然の摂理を理解することで、持続可能な社会の実現に向け、その方法や方向性を見出す力を育みたい。また、調査や考察の結果を発信したり、意見を交換し合ったりすることで、他者理解やコミュニケーション能力を高め、さらに自然に対する畏敬の念を持ち、自然と共存していく姿勢に繋げていきたい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・課題を発見し、解決していく力
- ・情報を収集・蓄積し、分析していく力
- ・分かったことや考えたことを発信し、自ら地域・社会に貢献していく力

1-7. 単元の展開（全 13 時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1 ～ 4	<p>河内川環境調査オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 川の現状について整理し、調査活動実施に向けた課題設定を行う。 <p>河内川環境調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 河内川の水質調査、生息生物調査、漂着ゴミの状況など、現地赶赴して調査活動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 河内川の水が飲料水になっていることを確認し、河内川の現状を整理していくようにする。整理する過程で生じた課題を実際の調査によって明らかにするようにしたい。 調査活動には天草海部の協力を得ながら、より専門的な実態把握ができるようにする。 <p style="text-align: right;">外部連携：天草海部</p>
5 ～ 7	<p>河内川河口干潟オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 川の調査を受け、水が流れ込む河口干潟の状況調査への課題設定を行う。 <p>河内川河口干潟生物調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 河口干潟の生物・地形調査をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 河内川環境調査での結果から、川・海のつながりに気づかせ、河口干潟の調査に意識を向けるようにする。 調査活動には天草海部の協力を得ながら、より専門的な実態把握ができるようにする。 <p style="text-align: right;">外部連携：天草海部</p>
8 ～ 13	<p>河口干潟ゴミ調査及び類型化オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 干潟の調査を受け、調査活動実施に向けた課題設定を行う。 <p>河口干潟ゴミ採取及び類型化</p> <ul style="list-style-type: none"> 河口干潟のゴミを採取・分別する。 <p>調査活動のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査を受けて、わかったことやもっと知りたいことなどを個人で調べ発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 河内川河口干潟生物調査の結果から、干潟の重要性を再確認し、干潟のゴミ調査に意識を向けるようにする。 調査活動には天草海部の協力を得ながら、より専門的な実態把握ができるようにする。 <p style="text-align: right;">外部連携：天草海部</p> <ul style="list-style-type: none"> 干潟のゴミ調査をうけ、個人でまとめる中で、環境保全のために自分たちにできることを考えられるようにする。

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

河内川河口干潟調査を受け、課題を見つけ出し、河口干潟のゴミや環境問題について関心を持つことができる。また、実際に干潟のゴミの採取・分類を行うことで、環境保全について関心を持つことができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 前時までの河内川河口生物調査活動の結果から分かったこと、考えたことなど意見を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの生物がいた。 ・絶滅危惧種の生物がたくさんいた。 ・干潟にはたくさんの穴が開いていた。 <p>2 干潟の環境について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物がたくさんいるけれど、ゴミがたくさん流れ着いていた。 ・川より海の方がゴミが多かったような気がする。 <p>○干潟にはどんなゴミがあるか予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釣りに使う道具 ・プラスチック類(ペットボトル・袋・発泡スチロールなど) ・空きビン、空き缶 	
<p>干潟のゴミを調べてみよう！</p>	
<p>3 実際に干潟でゴミの採取を行い、分類作業をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ゴミ拾い ②マイクロプラスチック調べ ③分類作業 ④考察 <p>4 調査活動のまとめを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○活動で特に印象に残ったこと ○もっと知りたいと思ったこと ○調査後に調べたこと 	

--	--

3. 今回の活動の自己評価

--

4. 今後の課題

--

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

--

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。